

# 町のてん

発行・秋田県天王町役場 TEL(天王)1.42.135  
編集・企画室 印刷・一日市印刷 TEL(018875)2038

町のうごき	
本籍数	4,496
本籍人口	14,745
世帯数	3,482
住民登録人口	13,616
内 男	6,554
女	7,062
6月1日現在	



▲町政報告する町長(右)と真剣な表情で聞く議員、傍聴者たち(6月22日)

6月定例町議会が6月22日に開会された。会期を22日、23日の2日間と決めたあと町長報告。次いで産業経済、土木の委員長報告、一般質問が行なわれた。

2日目は、上程された5案件の審議にはいり、46年度の一般会計補正予算案、農業委員の定数条例の一部改正など、4案件を原案可決。昭和60年度を目標とした本町の理想像を設定する「天王町基本構想」案を継続審議にして23日に閉会した。

22日の町長報告、一般質問には、婦人会など約30人が熱心に傍聴していた。

## 20周年記念行事に413万円

六月定例町議会終わる

四案件を可決

### 選挙に関する特別職で非常勤職員の報酬を改正

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律が公布施行されたに伴い、天王町特別職の職員で、非常勤のもの報酬および費用弁償に関する条例が一部改正された。

これによると、投票管理者、開票管理者および選挙長が日額千五百円から二千五百円に、投票立会人、開票立会人および選挙立会人が日額千二百円から二千円に改められ、昭和四十六年六月二十六日から施行された。

### 町制施行20周年記念事業に四百十三万円

#### 昭和四十六年度一般会計補正予算

今回、補正された額は三千二百五十九万二千円、これによって四十六年度一般会計の予算総額は、三億九千六百六十二万四千円となった。

- おもな事業関係は次のとおり
- ▽町制施行二十周年記念事業費 四百十三万八千円。
- ▽大崎保育所増築工事費 三十三万三千円。

- ▽追分児童遊園地整備工事費 二十二万三千円。
- ▽児玉地区農道整備事業工事費 七十四万五千円。
- ▽北野地区農道整備事業工事費 二百六十四万四千円。
- ▽防火水そう新設工事費(基) 七十六万円。
- ▽天王小改築工事に伴う、井戸ポンプすえつけ工事費など 二百五十四万四千円。
- また、補助金として天王町商工会館建設に二百万円、羽立分館改築に十万円、追分分館建築に百七十万円などが計上されている。

#### 簡易水道

#### 特別会計補正予算

### 四十六年度の校外指導員決まる

町教育委員会では、児童生徒に対し、校外での生活指導をする昭和四十六年度の校外指導員を四月一日付で委嘱した。

- 委嘱を受けた校外指導員名担当区域は次のとおり。
- 【天王小学校区】
- ▽塩口上 榎庭永一、榎庭俊雄
- ▽塩口下 榎庭長治郎、榎庭敏蔵
- ▽中羽立 菅生ミツ、菅生幸太郎
- ▽渋谷 戸田栄春
- ▽石川好雄
- ▽羽立上 鈴木為春
- ▽鈴木春雄
- ▽羽立下 安田幾雄
- ▽安田一十三
- ▽大崎上 菅原長八、三浦正義
- ▽大崎中 菅原由松、竹野稀視
- ▽大崎下 三浦甚五郎、三浦治雄
- ▽児玉 渡部金一、児玉長栄
- ▽二田新町 加藤ナカ、大関満
- ▽二田駅前 渡部金蔵、鎌田悦郎
- ▽二田二区 石川武男、石場清治郎
- ▽二田三区 渡部富雄、上村久一
- ▽二田四区 加藤通文、加藤哲美
- ▽二田四区 小野晃、畠山重一
- ▽鶴沼台 藤原金作、榎庭定雄
- ▽江川上 伊藤専助、藤原幸雄
- ▽江川下

#### 【東湖小学校区】

- ▽神明町 京谷正一、石川次男
- ▽上荒町 石川智恵、戸田馨
- ▽旭町 鎌田藤作、沼田善一郎
- ▽東荒町 戸田二郎、戸田金一郎
- ▽西荒町 川崎秀雄
- ▽越後谷 下町 戸田家吉、柏崎イヅ子
- ▽本町 京谷金之助
- ▽曲町上 柏崎勇、京谷好子
- ▽曲町下 安東成一、鎌田栄子

#### 【追分小学校区】

- ▽追分上 石川貢
- ▽追分中 中村定一
- ▽追分下 中田兼三郎
- ▽追分街道 門間キヨ
- ▽長沼 門間敦子
- ▽牛坂 高橋昭二
- ▽追分西 斎藤隆男
- ▽北野 佐藤チエ子

※荒谷正三(二田駅長)

歳入歳出に二十四万五千円が補正され、四十六年度の予算総額は四百五十四万三千円となった。

### 農業委員の定数十人に

これは、揚水ポンプ設置工事費の二十四万五千円である。委員会活動の合理化と財政的事情により、天王町農業委員会の選挙による委員の定数が、現在の十五人から十人に改正された。

この条例は、昭和四十六年七月一日から施行され、施行日以後の一般選挙から適用されます。

# 多彩に創立二十周年記念式典

## 成人を迎えた東湖小



▲意義深い式典で表彰を受ける功労者たち

念願の独立を達成してから、はや二十年。天王本郷あげての東湖小創立二十周年記念式典が若葉かおる行なわれた。同体育館で盛大に五、二十九日、まず、教育委員長が「輝ける歴史伝統の上に、健康を中核とする新しい生涯教育の態勢をと式辞。これに対し、東湖小校長が「地域協調の中に、品格のある人間形成を図りたい」と謝辞をのべた。引き続きこの二十周年で、特に功労のあつた十一名に町教育委員会などから表彰された。このあと、町長はじめ県教委、町議会議長の祝辞があり、最後に児童たちによる特別活動の成果（東湖小の歴史）を教育機器、オーバードを使つての解説と、アコードオン十二台に、弦バスを入れた三十六名の器楽演奏があり、二十周年にふさわしい式典の幕を閉じた。

同日は、昭和二十六年四月一日に天王小学校分校から独立。この間、卒業生も約千人を教える数々のすぐれた人材を輩出している。また、今回の創立二十周年記念に当たり、天王本郷の地域住民に、毎日毎日楽しくすごしたいものですね。わたしたちだけでなく、おとなも家庭に対して家庭の日の意味を理解し、そして実行してもらいたいと思ひます。

わたしの家では、家庭の日とありますが、べつに変わったことではありません。家族会議とかレクリエーション的なことはしなくとも、毎日毎日楽しくすごすようにしています。だから、わたしたちには、普通の日と変わらない家庭の日ですが、ほかの人たちの中には、なくてはならない人もいます。待てるぞんでは、人たちが比べると、わたしは、しあわせだなあと思ひます。家庭の日は毎月第三日曜日ですが、毎月あるだけに、わたしたちは、それを重要と思わないのかもしれない。でも、家庭

罪のない楽しい世の中が築かれると思ひます。しかし、世の中の人たちがどのくらい関心をもっているかによって、はじめて家庭の日の存在が大きくなるのです。でも、家庭の日だけでは

### 「家庭の日」作文コンクール 入選作品

天王中一年 後藤 由美子

また、今回の創立二十周年記念に当たり、天王本郷の地域住民に、毎日毎日楽しくすごしたいものですね。わたしたちだけでなく、おとなも家庭に対して家庭の日の意味を理解し、そして実行してもらいたいと思ひます。

また、今回の創立二十周年記念に当たり、天王本郷の地域住民に、毎日毎日楽しくすごしたいものですね。わたしたちだけでなく、おとなも家庭に対して家庭の日の意味を理解し、そして実行してもらいたいと思ひます。

### 課税限度額が八万円に

#### 国民健康保険税

自治省は、地方税法の一部改正を去る二月十日国会に提出したが、この中で国民健康保険税の課税限度額を十五年ぶりに五万円から八万円に引き上げられることになった。なお、今回の改正では基礎控除が十三万円から十四万円に、低所得軽減対象金額が六万五千円から八万円にそれぞれ引き上げられた。

【学校長表彰】  
京谷仁太郎、柏崎佐一郎、賀谷時雄、京谷金之助  
【二十周年実行委員会表彰】  
山村晴麻、千葉静江、保坂孝、鈴木咲子、菅生愛子、石川フキ子

五人世帯の場合  
十四万円+(四人×八万円)  
四十六万円  
五人世帯で、所得金額が四十六万円をこえない場合は、軽減世帯六十万四となっており、これらの世帯が、四十六年度の対象となる見込みです。

自治省は、地方税法の一部改正を去る二月十日国会に提出したが、この中で国民健康保険税の課税限度額を十五年ぶりに五万円から八万円に引き上げられることになった。なお、今回の改正では基礎控除が十三万円から十四万円に、低所得軽減対象金額が六万五千円から八万円にそれぞれ引き上げられた。

【例】  
総所得金額十四万円以下の世帯は軽減額 十分の六

●役員総会で決まった四十六年度の事業計画は次のとおり。  
南秋大会(井川村) 養老院慰問、リーダー研修会、議会傍聴消費者教室、消費者大会、総会。

お返しはやめよう  
いままでは、不幸にして病気になる入院した場合、全快して退院するとお見舞いのお返しを配る習慣がありました。が、数年前から全廃を呼びかけ、良く守られていました。しかし、最近、また復活してきています。ことしは撤廃するよう、先日の役員総会で決定しましたので、町民の皆さんにも、ぜひご協力をお願いいたします。

水死事故をなくそう  
まもなく夏休みがはじまります。水死事故のため、毎年悲劇が繰り返されています。保護者はもちろん、地域の人々が水死事故防止のため積極的に注意し、あいましよ。

百円化粧品について  
地婦連では、NHKなどでよく話題となる百円化粧品を販売しています。「ちふれ」という

赤痢の発生状況

年度	41	42	43	44	45	46
件数	2	1	1	0	18	6

# 赤痢をなくそう

## 45年から急に増加

赤痢は、昨年から急に増加しており、今年度に入ってから、すでに六件も発生しています。季節的にみると差はありますが、年齢別にみた場合五歳、九歳が圧倒的に多く、次いで十歳、十四歳、四歳以下となっています。

### 症状

いろいろな経路を経て健康者の口の中にはいった赤痢菌は、腸の中でもうれつな勢いでふえ、一、五日ほどの潜伏期間があつて、急に三十八度以上の熱をだし、下痢をくり返すようになります。

赤痢の症状のきわめてひどいものが疫痢とよばれるもので、子どもがかかる特殊中毒型の病気で、大便の中に血が混じるといふ。

### 感染の経路

【ハエ、ゴキブリ、ネズミの

**【駆除】**  
便所や台所をところかまわずかけ回るハエ、ゴキブリ、ネズミも赤痢菌を運ぶのに一役かっています。

### 【よく洗わない手】

下痢をしている人の大便は、水分が多く、チリ紙を通して菌が手に着きやすい。そんなとき手の洗い方が不完全だと、手から便所のドアの取っ手や手ぶき食器、食品など、あらゆるものに菌が着けられてしまうことになりま。このように、赤痢の感染は患者や保菌者の大便から感染するのが多いのです。

### 【井戸水の検査】

井戸水は、大腸菌が多く混じっている恐れがありますから、乳幼児には煮沸して飲用することを心がけてください。

### 【予防】

**【手洗い】**  
赤痢菌は、手から口へはいりますから、手を洗う事が大切です。一見きれいな見えない手も、肉眼では見えない菌で汚れています。

①用便後②汚物の取り扱いかい後③食事の調理や食品の取り扱

本町の羽立部落では、六月十日部落民の理解ある協力で、水稻病害虫防除組合を設立した。これは、農産物の病害虫防除体制を確立し、農業の安全使用防除を効率的に行ない、農業経営の近代化を図ろうとつくりだしたもの。

同組合では、設立後町から三十パーセントの補助を得て、一台七十万円の大形防除機四台をさつそく購入した。

同部落の受益戸数は百四十七面積が減反分を含めて二百二十ヘクタールで、第一回目の共同散布は、六月十八日から始まっているが、同組合では「大変能率があがる」と大好評である。

## 防除組合を設立 ▷羽立部落◁



かいを始める前、調理の最中にも、鼻をこすったとか、耳をかいたとか、不潔な動作があったときは、そのつど手を洗うようにしましょう。また、④食事の前⑤外出して帰ったときは、必ず手を洗う習慣を身につけたいものです。せつかく洗った手もツメが伸びていたのでは意味がありません。手ぶきは、いつも乾いたタオルを使用してください。

### 【耐性菌】

下痢が続いたとき医師の正しい処方をきいてください。

### 正副館長、運営委員

町公民館の館長、副館長および運営委員の任期が五月三十一日で満了になったのにもない、町教育委員会では六月一日付で、つぎのとおり任命、委嘱をした。

- ◇館長 米谷多一郎 ◇副館長 後藤春治
- ◇運営委員 井川久一、川口正之助、斎藤栄治、中村正樹、佐川秀雄(以上学校長) 三浦兼男、松庭周光、真壁キヤ、丸谷昇、佐々木幸蔵、安田慶太郎、佐藤ミエ、三浦ツタ(以上団体代表) 伊藤倉之助、佐藤久雄、三浦隆之助、三浦四郎、児玉チヤ、三浦綱子、桜庭清美(以上学識経験者)

## 公民館だより

い診断を受けないで、むやみに薬屋さんで抗生物質を買ってのんだために生じた薬に強い菌、これが耐性菌です。しろうと判断ではなく、必ず医師の指示を受けることが大切です。

### 脳血管センターで精密検査受ける

大崎地区の二十歳以上農村地帯にもっとも多いといわれている脳卒中の調査をするため、

◇チーム編成 第十五回大会と同じ。女子チームは満二十歳から二十九歳までの主婦が四名以下、満三十歳以上の主婦が四名以上。男子チームは満三十歳から三十五歳までが六名以下、満三十六歳以上が二名以上。

◇ネットの高さ 従来までは男子が二メートル四〇センチ、女子が二メートル三〇センチであったが、県大会のネットの高さが女子の場合に二メートル一〇センチになるので、体育指導委員会会で検討中。

◇申し込み 監督会議が七月十日に開かれるので、その日または申し込みをすること。

◇青少年のワークキャンプ 青少年を対象にしたワークキャンプが八月七日、八日の二日間男鹿市加茂青砂海岸(予定)を主会場にして実施されます。このキャンプには、青少年であれば、だれでも参加できますので希望者は町公民館(電話三〇一、三五〇)に申し込みをしてください。個人負担経費は交通

め、準農村地帯、農家世帯、人口、農作業時間が調査の対象にしている本町の大崎地区を指定した。

これは、五月六日から脳血管センターで行なわれており、大崎地区の二十歳以上全員が受けることになっています。

主な検査項目は、血圧測定、尿検査、レントゲン、心電図、脳の動脈硬化などを検査しているが、対象者六百五十人のうち六月十一日現在で百七十人が検査を終えた。

成人式は八月十五日町では、成人の門出を祝う昭和四十六年度の成人式を、新成人の代表者会議を開き、協議をかされた結果、お盆の八月十五日に実施することになった。

当日は、ゲームソング、キャンプファイヤーなど、みんなが楽しく過ごしやすい日程が組まれています。

夕食と帰宅のための町内巡回バスは、町で用意しますので、みんながささい、あつて出席し、楽しい一日を過ごしてください。

成人者名簿は八月一日号に掲載しますが、ただいま、名簿の確認を公民館事務局と新成人代表者ですすめておきますのでお問い合わせは公民館へ。

みんな本を読もう 土曜の午後、日曜、祭日を除いて毎日貸し出しています。毎日の忙しい生活の中で「三十分間読書運動」に、みんな参加しましょう。

希望者は町公民館(電話三〇一、三五〇)に申し込みをしてください。個人負担経費は交通

希望者は町公民館(電話三〇一、三五〇)に申し込みをしてください。個人負担経費は交通

